

いのちの言の葉2010

富山県教育委員会 平成 22 年度いのちの教育総合支援事業

「いのちの誕生」(理科)

富山市立神明小学校 5・6 学年児童
平成 22 年 11 月 17 日実施

【いのちの先生】

佐竹 紳一郎先生
・ さたけ産婦人科医院長

【授業の概要】

- 1 「いのちの先生」の紹介
- 2 「いのちの先生」の話
 - (1) 産婦人科の仕事の説明
 - (2) 妊娠と成長 (スライド)
 - (3) 生理の仕組み
 - (4) 3つのいのちとの出会い
(両親と、パートナーと、わが子と)
- 3 質問コーナー
- 4 いのちのメッセージカードの記入

- ・いのちの誕生の仕組みの中で、自分が選ばれて生まれてきたことに感動を覚えている児童が多くいた。自分の存在に誇りを持ち、友だちの存在を大切にしようとする気持ち、両親への感謝の気持ちが高まった。
- ・学習後、各学級で両親や家族、将来の自分、いのちの先生などに対して、メッセージカードに自分の思いを綴った。学習時の感動を言葉で表現することや感動や感謝の気持ちを伝えたい相手に対してメッセージとして発信することはとても意義のあることであった。

おじいちゃん、おばあちゃんへ

今日、学校で「いのち」についての勉強をしました。私の体の中のどこかはじいちゃんとおばあちゃんの特徴が入っていることが分かりました。

じいちゃんやおばあちゃんが与えてくれた体やいのちを大切に生きていきたいです。

お母さんへ

私を産んでくれてありがとう。お母さんは私を産むためにお腹が痛くて大変だったと思うけれども、私をこの世に産んでくれて本当にありがとう。

お父さん、お母さんへ

今日のいのちの授業で、私はお母さんの1つの卵子とお父さんの3億ある精子の一つが結びついて生まれてきた大切ないのちなのだと思えました。お父さんとお母さんが大切に育ててくれた私のいのちを大切にしたいです。



佐竹先生へ

今日はお忙しい中、神明小学校に来ていただきありがとうございます。3億分の1の確率で生まれてきたということが「すごい」と思いました。自殺などしていのちを落としたら残りの2億9999万9999のいのちにもうしわけないから、いのちを大切にしたいと思います。